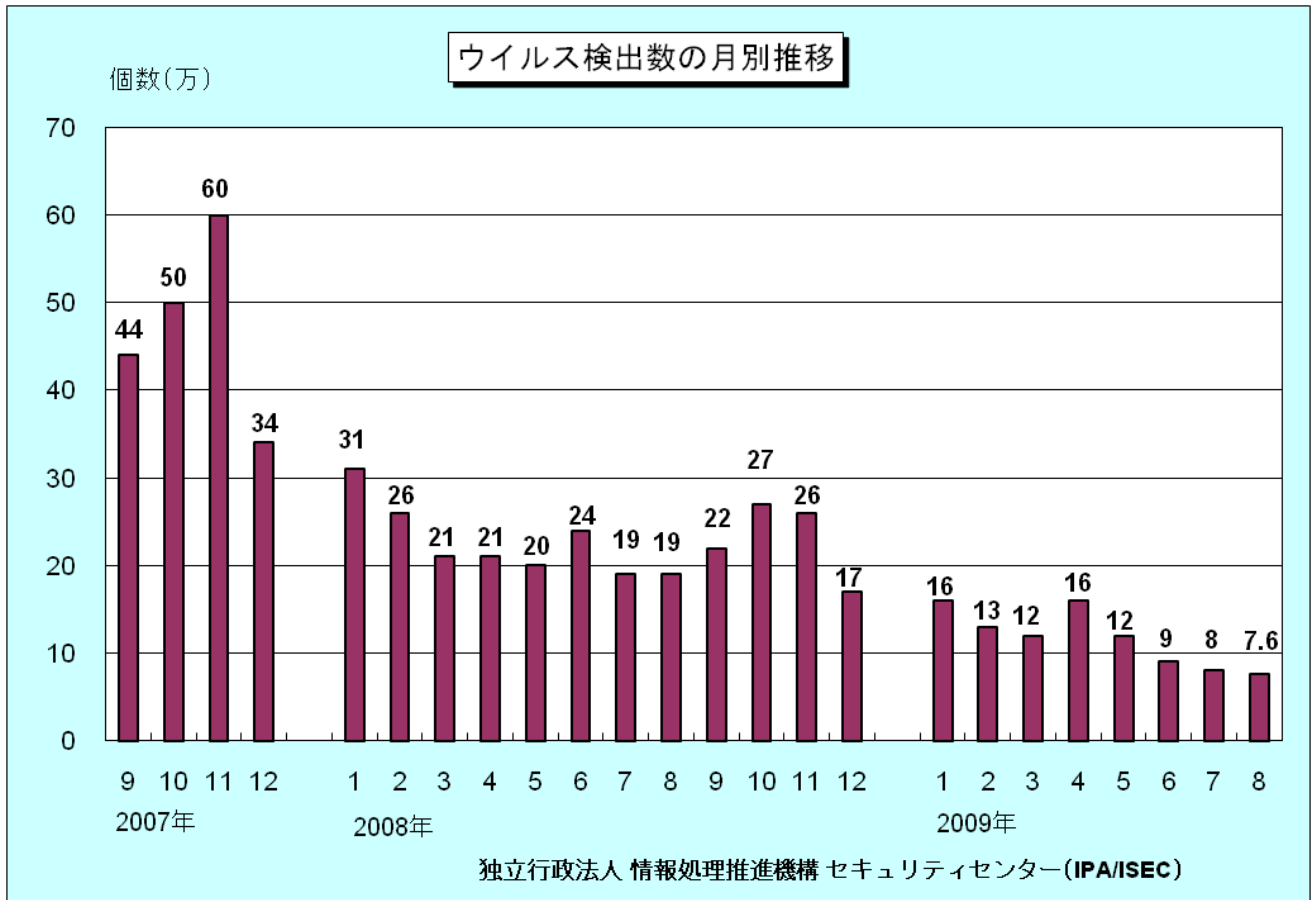
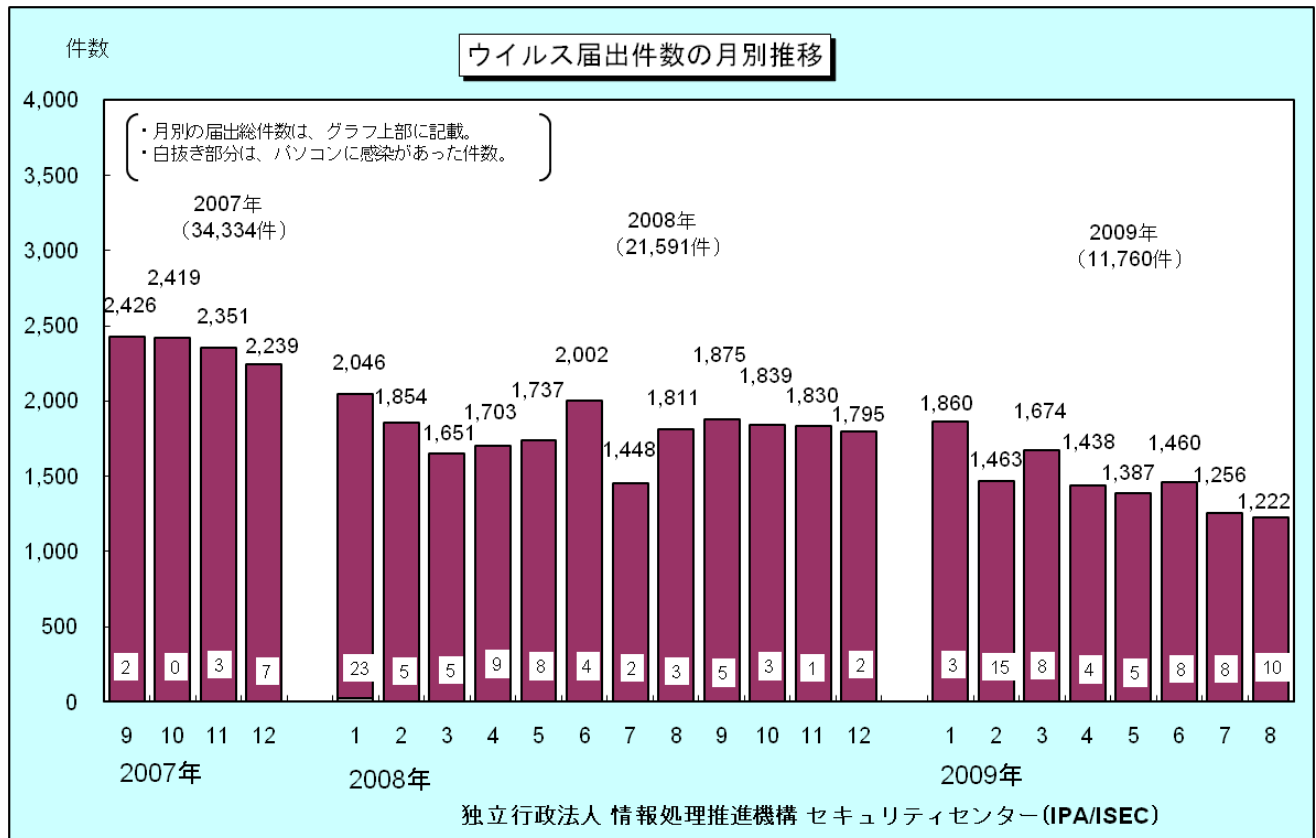


コンピュータウイルスの届出状況 [2009年8月分] について

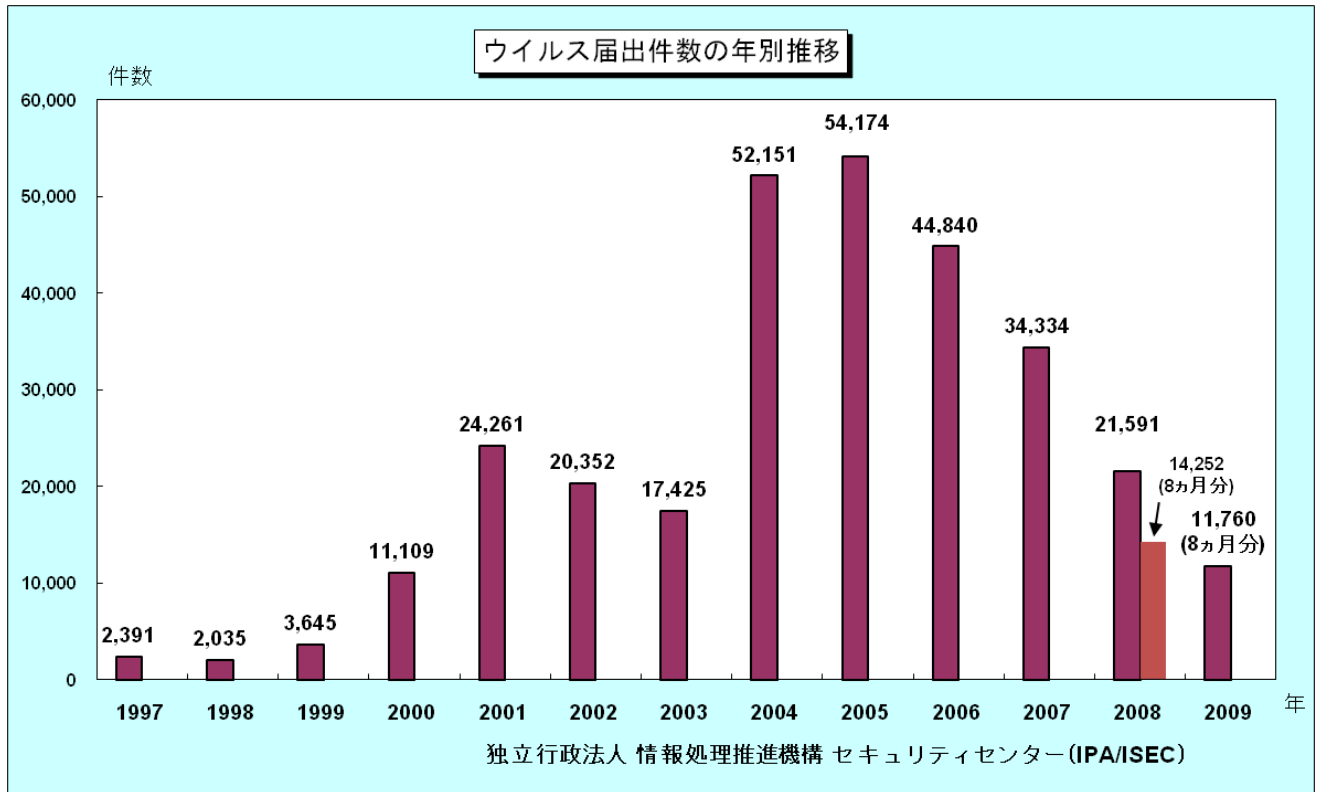
1. ウイルス検出数の月別推移



2. ウイルス届出件数の月別推移



3. ウイルス届出件数の年別推移



4. 8月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 51 種類で、Windows/DOS ウィルス 1,188 件、スクリプトウイルス及びマクロウイルス 34 件でした。

i) Windows

(※)印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	Windows/DOS ウィルス	届出件数
W32/Netsky	354	W32/Stration	1
W32/Mydoom	207	W32/Swen	1
W32/Bagle	97	W32/Traxg	1
W32/Mytob	95	W32/Whybo	1
W32/Autorun	73		
W32/Klez	66		
W32/Sality	37	小計	1,188
W32/Downad	31		
W32/Lovgate	30		
W32/Virut	27		
W32/Mywife	19		
W32/Bugbear	17	スクリプトウイルス	届出件数
W32/Gammima	16	VBS/Solow	23
W32/Mimail	16	VBS/Mondezimia	3
W32/Funlove	13	VBS/LOVELETTER	1
W32/Zafi	13	VBS/Redlof	1
W32/Mumu	12	VBS/SST	1
W32/Womble	12		
W32/Harakit	7		
W32/Induc (※)	7	小計	29
W32/Bagz	5		
W32/Rinbot	4		
W32/Dotex	3		
W32/Nuwar	3		
Anti-CMOS	2	マクロウイルス	届出件数
W32/Almanahe	2	XM/Laroux	3
W32/Dumaru	2	WM/Cap	1
W32/Nimda	2	X97M/Yini	1
W32/Rontokbro	2		
W32/Badtrans	1		
W32/Dronzho	1	小計	5
W32/Fakerecy	1		
W32/Fujacks	1		
W32/Imaut	1		
W32/Mabezat	1		
W32/Magistr	1		
W32/Mota	1		
W32/Neeris	1		
W32/Parite	1	ii) Macintosh	
		なし	
		iii) OSS (OpenSourceSoftware) : Linux・BSD を含む、UNIX	
		なし	
		iv) 携帯端末	
		なし	

備考：件数には亜種の届出を含む

(参考)

- ・ Windows/DOS ウィルス
Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。
- ・ マクロウイルス
MS-WORD や MS-EXCEL などのマクロ機能を利用するウイルス。
- ・ スクリプトウイルス
機械語への変換作業を省略して実行できるようにした簡易プログラムで記述されたウイルス。

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSExcel95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWord95、97 (WordMacro の略)
W97M	MSWord97 (Word97Macro の略)
X97M	MSExcel97 (Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
JS	JavaScript で記述
XF	MSExcel95、97 で動作するウイルス。(ExcelFormula の略)

5. 8月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

(1) W32/Induc (インダック)

このウイルスは、プログラム開発環境「Delphi」をターゲットにしたファイル感染型のウイルスです。「Delphi」の開発環境に感染し、感染した環境で作成されたプログラムに感染を拡大します。感染しても悪質な動作は行いません。また、「Delphi」の開発環境がない場合は、感染活動を行いません。

6. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約96%を占めています。

届出者	届出件数					
	2009年8月		2009年7月(前月)		2008年8月(前年同月)	
一般法人ユーザ	1,173	96.0%	1,183	94.2%	1,652	91.2%
個人ユーザ	3	0.2%	2	0.2%	5	0.3%
教育機関	46	3.8%	71	5.7%	154	8.5%
合計	1,222		1,256		1,811	

7. 感染(発見)経路別件数

メールにより感染(発見)したケースが最も多く、届出件数の約96%を占めています。

感染(発見)経路	届出件数					
	2009年8月		2009年7月(前月)		2008年8月(前年同月)	
メール	1,174	96.1%	1,182	94.1%	1,773	97.9%
ダウンロード(※)	4	0.3%	1	0.1%	1	0.1%
外部からの媒体	9	0.7%	9	0.7%	12	0.7%
ネットワーク	33	2.7%	62	4.9%	24	1.3%
不明・その他	2	0.2%	2	0.2%	1	0.1%
合計	1,222		1,256		1,811	

(※) ホームページからの感染を含む

8. 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2009年8月		2009年7月(前月)		2008年8月(前年同月)	
0台	1,212	99.2%	1,248	99.4%	1,808	99.8%
1台	6	0.5%	5	0.4%	1	0.1%
2台以上 5台未満	2	0.2%	2	0.2%	1	0.1%
5台以上 10台未満	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
10台以上 20台未満	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
20台以上 50台未満	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
50台以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,222		1,256		1,811	

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であり、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

○コンピュータウイルス対策基準

- ・ 通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・ 通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・ 通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・ 通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・ 経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

■お問い合わせ先

IPA セキュリティセンター 花村／加賀谷／大浦

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518

E-mail: isec-info@ipa.go.jp